

日立業務用エコキュート

自然冷媒(CO₂)ヒートポンプ給湯システム

取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next



形式	ヒートポンプユニット 貯湯ユニット	RHK-10BD RHK-T56BD
システム名称	RHK-10BDS	



必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。塩分・石灰分・硫黄分・その他の不純物を多く含む水質などの特殊な水質には本製品を使用しないでください。

また、お湯を沸かすための熱源を空気熱源ヒートポンプとしています。寒冷地(北海道、青森、秋田、岩手を中心とした次世代省エネ基準のI地域・II地域)および冬期の外気温度がマイナス10℃を下まわる地域ではご使用になれません。

ご使用の前に

リモコンの使用方法

上手な使い方

アフターサービス

はじめに／特長	2
安全上のご注意①②③	3～5
●据え付け上の注意事項	
●移設・修理時の注意事項	
●使用上の注意事項	
使用上のお願いとお知らせ	5
各部の名称と働き	6～9
●ヒートポンプユニット／貯湯ユニット／本体周辺	
●リモコン	
操作項目一覧	10

リモコンの使用方法

●電源の投入	10
●日付/時刻の合わせかた	11
●給湯温度の設定のしかた	12
●沸き増し量の設定のしかた	13
●沸き上げ温度の設定のしかた	14
●沸き上げ時間の設定のしかた	15
●ピークカットの設定のしかた	16～17
●日数休止のしかた	18～19
●曜日休止のしかた	20～21
●期間休止のしかた	22～24
●設定ロックのしかた	25
●ボタン・アラーム音量の設定のしかた	26
●画面コントラストの設定のしかた	26
●実績表示	27
●給湯量の表示(現在)	28
●給湯量の表示(1日)	28

凍結防止	29
メンテナンス時又は長期間運転を停止するとき	30～31
電源ブレーカーを入れたときと停電後	31
各部の点検とお手入れ	32～33

故障かな？	34～35
保証とアフターサービス	36
定期点検	36～37
お客様ご相談窓口	37
仕様	38

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書と共に大切に保存してください。

はじめに

この給湯機は、業務用を目的とした高温貯湯式ですので、シンク等の出湯口には必ず混合栓をご使用ください。

また、給湯以外の目的で使用しないでください。



ご使用の前に

特長

小規模飲食店、スーパー、理美容店 小規模福祉施設におすすめ！

- 自然冷媒CO₂採用のヒートポンプ給湯システムで環境配慮型の給湯システムです。
- 加熱能力10kWヒートポンプユニット1台と、560Lの貯湯ユニットのシンプルなシステム構成です。

電力料金の安い低圧電力契約にも対応

三相200V電源使用

食器洗浄機（約80°C）と給湯栓（約40°C）を同時給湯

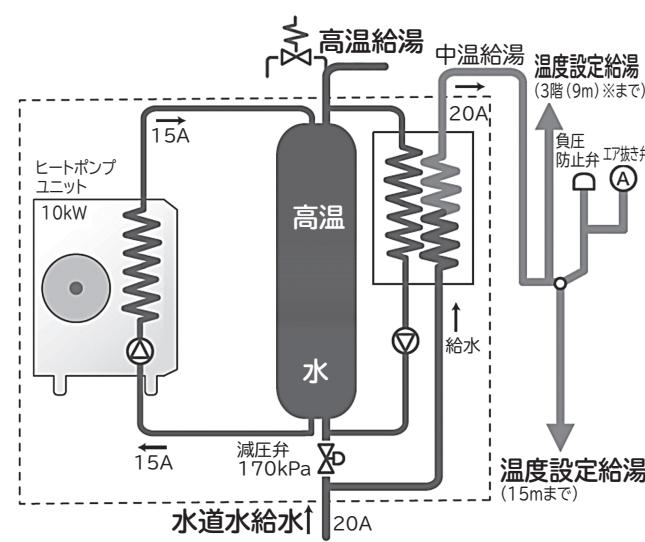
[2温度同時給湯]が可能

- タンクにためた湯を高温水（約65°C～約90°C）として直接給湯する経路（高温給湯）と、水道水をリモコンで設定した温度（約35°C～約60°C）に瞬間に沸き上げて給湯する経路（設定温度給湯）を設けることで、2つの温度の湯を同時に給湯することが可能となりました。

階下・階上給湯や井戸水使用にも対応

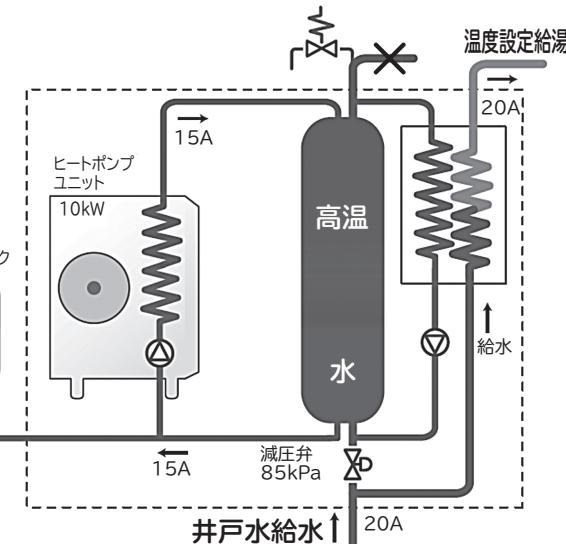
[水道直圧給湯]採用

階下・階上給湯サイクル図（イメージ図）



階下・階上給湯にはタンク直接給湯は使用できません。
※給水圧力300kPa以上が必要。

井戸水使用の給湯サイクル図（イメージ図）



井戸水使用時にはタンク直接給湯は使用できません。

◆安全上のご注意①

必ずお守りください。

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、必ず守つてください。

- 警告と注意の意味は次の通りです。

 警告	「死亡または重傷などを負うことが想定される」内容です。
 注意	「傷害を負うことか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- 本文中「図記号」の意味は次の通りです。

	必ず実行していただく「強制」内容です。
	必ずアース線を接続してください。
	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	触れないでください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

! 警告	
 改造禁止	<ul style="list-style-type: none">●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
 アース線接続	<ul style="list-style-type: none">●アース工事がされているか確認する故障や漏電のときに感電する恐れがあります。<ul style="list-style-type: none">・アースの取り付けは販売店又は工事店に依頼してください。
 禁止	<ul style="list-style-type: none">●ヒートポンプユニットの近くにガス類容器や引火物を置かない発火することがあります。●湿気の多い場所に据え付けない●雨や雪が降った時に、水たまりができる水につかるようなところに据え付けない湿気の多い場所に据え付けると、感電や火災などの原因になります。
! 注意	
 強制	<ul style="list-style-type: none">●ヒートポンプユニットの脚がアンカーボルトで固定してあるか確認する本体が倒れてけがをすることがあります。<ul style="list-style-type: none">・固定していない場合は販売店又は工事店に依頼してください。●ヒートポンプユニットを設置する床面が防水処理・排水処理されているか確認する水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。<ul style="list-style-type: none">・販売店又は工事店に依頼してください。●電源は、三相200Vを使用する三相200V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、発火の原因になります。●次の場所には設置しない海岸地区など塩分が多い所や、硫化ガスの発生する所に設置すると、事故・故障の原因になります。運転音が隣家の迷惑になる所に設置すると、クレームの原因になります。●温泉水、井戸水では使用しない水道水以外の水や本製品の水質基準に適合しない水を使用すると故障の原因になります。(本製品の水質基準は□ア38ページ)

ご使用の前に

据え付け上の注意事項

移設・修理時の注意事項

!警告****

- 異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止してヒートポンプユニットの電源スイッチを「切(OFF)」にして〔または分電盤のブレーカーを「切(OFF)」にして〕お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に相談する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
- 修理は、お買い上げの販売店または、修理窓口に依頼する
ご自分で修理をされ不備があると、感電や火災などの原因になります。
- 機器を移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼する
ご自分で移動・再設置され、不備があると、感電や火災などの原因になります。

使用上の注意事項

!警告****

- 漏電遮断器の作動を確認する
漏電遮断器が故障したまま使用すると、漏電のときに感電する恐れがあります。
(漏電遮断器の動作確認方法は☞32ページ)
- 給湯温度を確かめる
やけどの恐れがあります。



- 給湯時は給湯カランに手を触れない
やけどをすることがあります。



- 機器の前面カバーは開けない
感電の恐れがあります。
- ヒートポンプユニットの空気吸込口、空気吹出口に手や棒を入れない
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。

!注意****

- ヒートポンプユニット・貯湯ユニットに乗ったり、ものを載せたりしない
落下や転倒などにより、けがの原因になります。
- ヒートポンプユニットの吸込口や底面、アルミフィンにさわらない
けがの原因になります。
- 動植物にヒートポンプユニットの空気吹出口から出る風を直接当てない
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。
- ヒートポンプユニットの空気吸込口や空気吹出口をふさがない
能力低下や故障の原因になります。



- 給湯機から出る湯水をそのまま飲用しない
長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまつたり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。
 - ・ 固形物や変色した水・濁り・異臭があった場合には、直ちに点検の依頼を行ってください。

◆安全上のご注意③

必ずお守りください。

使用上の注意事項



強制

- ヒートポンプユニット、貯湯ユニット前面の操作カバーは閉じておく
ショート・感電の恐れがあります。
- 貯湯ユニット、ヒートポンプユニットを満水にしてから電源を入れる
お湯が正常に出ません。
 - ・給湯システムの運転開始時の準備は、販売店にご依頼ください。
- 給湯機を1ヵ月以上使用しない時は、電源スイッチを「切(OFF)」にして、
ヒートポンプユニットと貯湯ユニットの水を抜く
水質が変化することがあります。(水抜き方法は☞30ページ)
- 外気温度が0°Cを下回る恐れのある場合は、凍結防止ヒーターを使い凍結防止対策を
必ず行う(☞29ページ)
配管が凍結破裂した場合、そのまま使うと熱湯でやけどをすることがあります。
 - ・保温工事は販売店にご依頼ください。
- 最初にお使いになる時に、貯湯ユニットのタンク内に水が入っている場合は、
タンク内の水を一度排出する
タンクや配管内の水質が変化していることがあるので、タンクの排水、給水を行い
水を入れ替えてください。
(タンク排水・タンク給水の方法は☞30、31ページ)

ご使用の前に

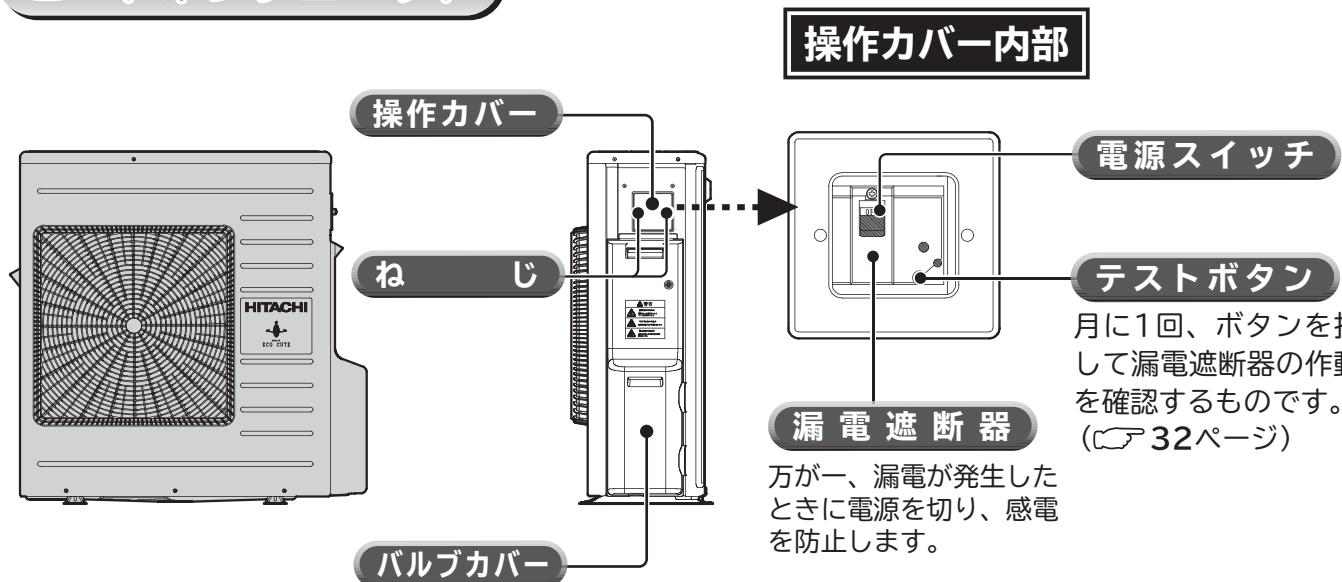
◆使用上のお願いとお知らせ

- 給水圧力は、200kPa(2kgf/cm²)以上あること。
給水圧力が指定圧力以下の場合は、水やお湯の出る量が少なくなったり、配管内に気泡が溜まりお知らせ表示等の発生原因になる場合があります。
その場合は、販売店または工事店にご相談ください。
- お湯は上手にお使いください。
お湯を連続的に多量にお使いになると、外気温度が低い時などお湯の温度が下がることがあります。
- リモコンの時刻を月に一度、確認してください。
リモコンの現在時刻がずれた場合は、リモコンで現在時刻を合わせ直してください。
(現在時刻の合わせ方は☞11ページ)
- 給湯開始時は、しばらくの間は水が出る場合がありますが、これは機器から出湯口までの配管中に残っていた水が出るためですので、そのまま給湯を続けてください。
- リモコンには水をかけないでください。また、屋外または、直射日光があたる場所や高温になる場所、表面に結露が発生する場所には設置しないでください。
故障の原因になります。
- タンクに貯湯されている温度は、配管やタンクの放熱などにより沸き上げした温度(リモコン設定温度)よりも低下します。
従って、高温給湯側の給湯温度は沸き上げした温度(リモコン設定温度)よりも低い温度となります。
また、前日の残湯量が多い場合は、沸き上げ運転が開始しない場合があります。
- 冬期で外気温が低い場合、沸き上げ温度が低下する場合があります。
- 水道の圧力が変動したり、給湯量を変更した場合や給湯量が極端に少ない場合に、給湯温度が変動する場合があります。
- 温度設定給湯側は配管の放熱などにより、リモコンで設定した給湯温度よりも低下します。
リモコンで設定温度を調節してご使用ください。
- タンク内の残湯熱量により、リモコンで設定した温度で、給湯できない場合があります。
- 給湯量は、給水元圧400kPa、約20L/分程度です。

◆各部の名称と働き

ご使用の前に

ヒートポンプユニット

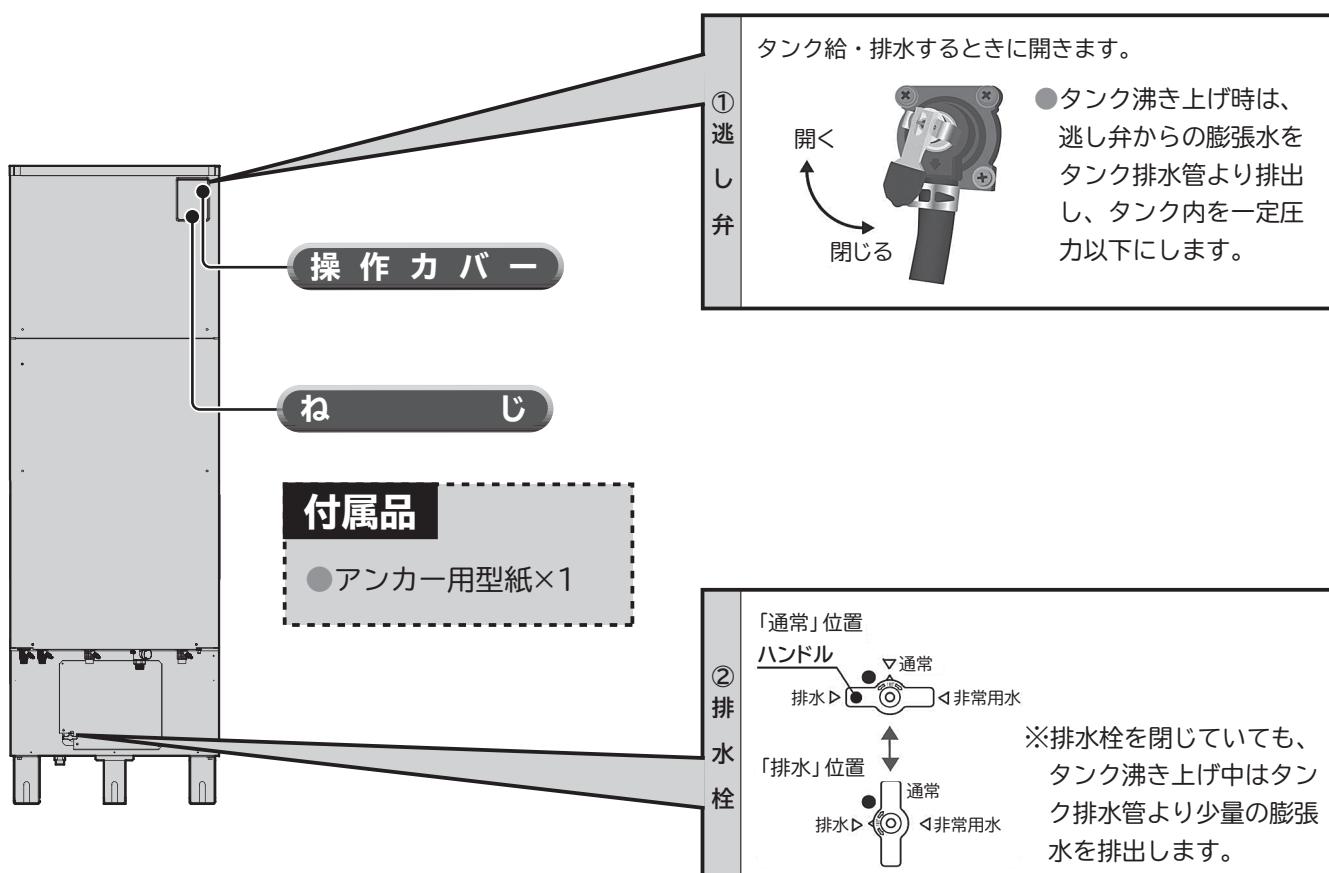


付属品

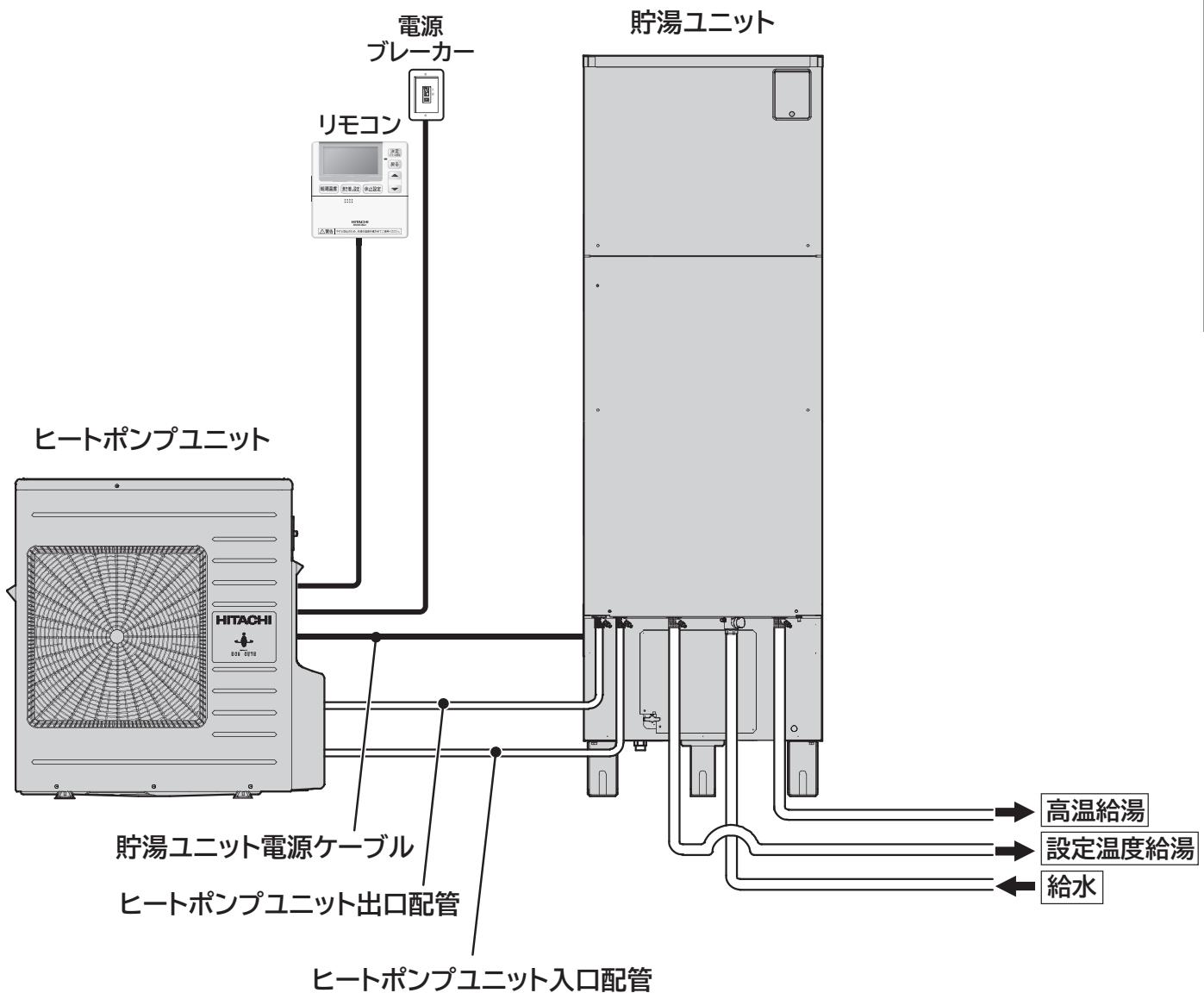
- 保証書×1
- 取扱説明書×1(本書)
- ドレンパイプ(Φ16ホース用)

- 据付説明書×1

貯湯ユニット



本体周辺



◆ 各部の名称と働き(リモコン)

ご使用の前に

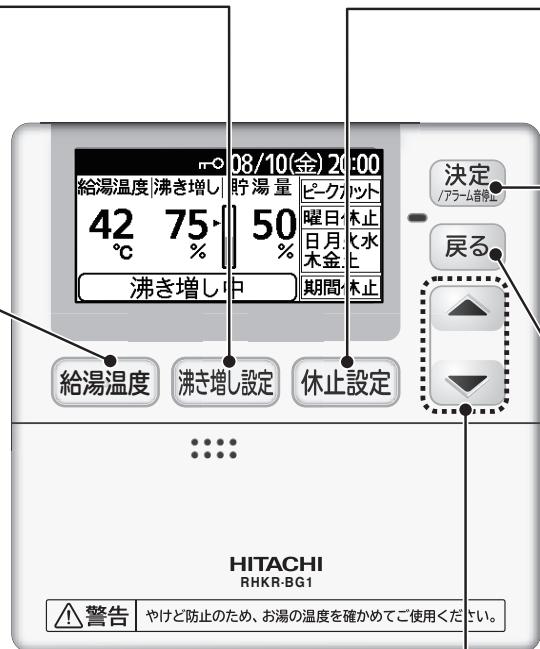
リモコン

沸き増しボタン

- 沸き増し量を設定します。
(☞ 13ページ)

給湯温度設定ボタン

- 給湯温度を設定します。
(☞ 12ページ)



休止設定ボタン

- 給湯機の休止を設定します。
(日数休止、曜日休止、期間休止)
(☞ 18ページ)

決定(アラーム音停止)ボタン

- 各種選択／設定を確定します。
- アラーム音を消します。

戻るボタン

- ひとつ前の画面に戻ります。

- 各種設定や時間／時刻などを選択します。

沸き上げ時間設定ボタン

- 沸き上げ運転を行う時間帯を設定します。
(☞ 15ページ)

沸き上げ温度設定ボタン

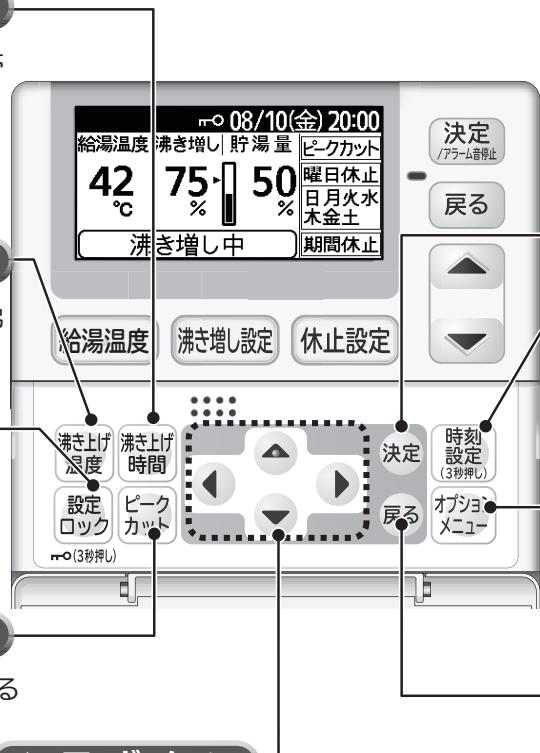
- ヒートポンプユニットの沸き上げ温度を設定します。
(☞ 14ページ)

設定ロックボタン

- 「給湯温度」「沸き増し量」「沸き上げ温度」の操作を禁止にします。
(☞ 25ページ)

ピークカット設定ボタン

- ピークカット(運転停止)する時間帯を設定します。
(☞ 16ページ)



決定ボタン

- 各種設定を確定します。

時刻設定ボタン

- 3秒押し後、日時時刻を設定します。
(☞ 11ページ)

オプションメニューボタン

- ボタン音量、画面コントラスト調整等を行います。
(☞ 26ページ)

戻るボタン

- ひとつ前の画面に戻ります。

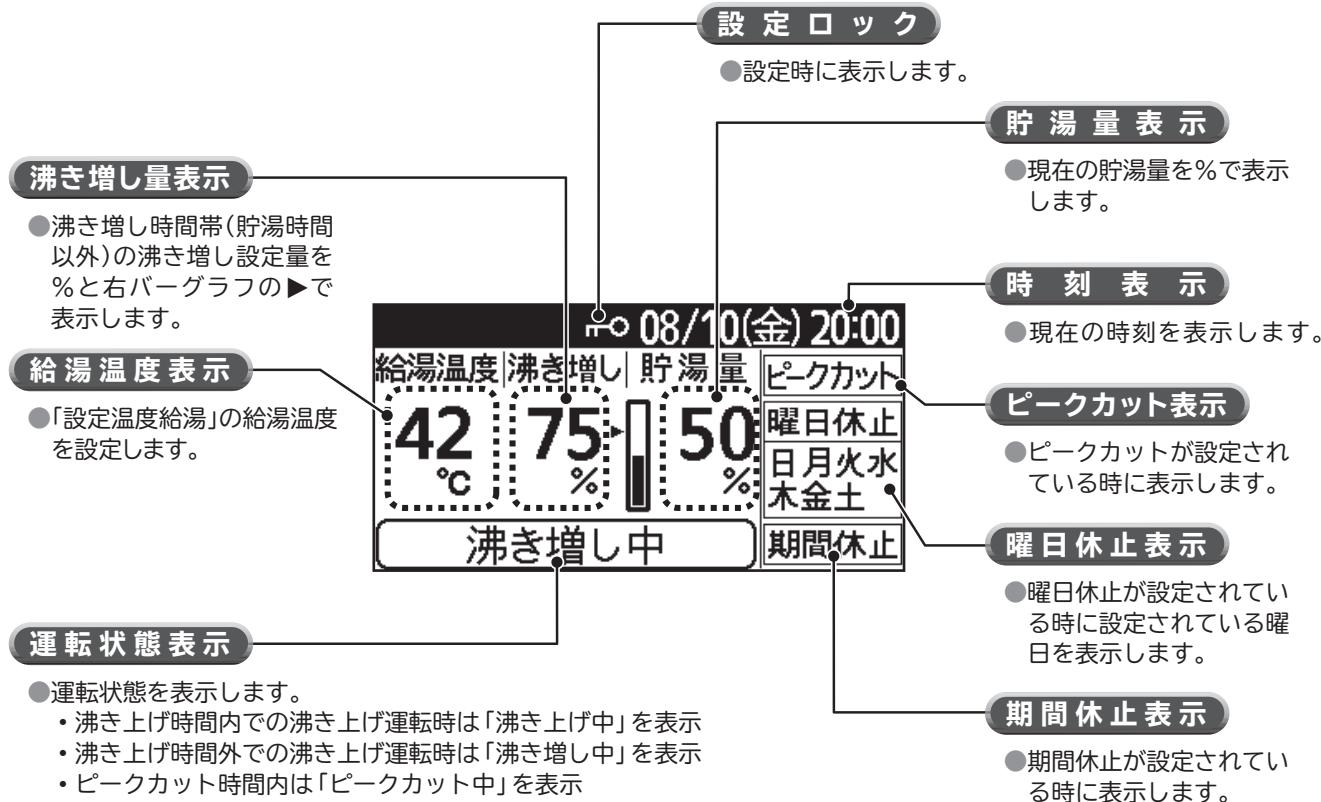
- 各種設定や時間／時刻などを選択します。

◆各部の名称と働き(リモコン)

リモコン表示部

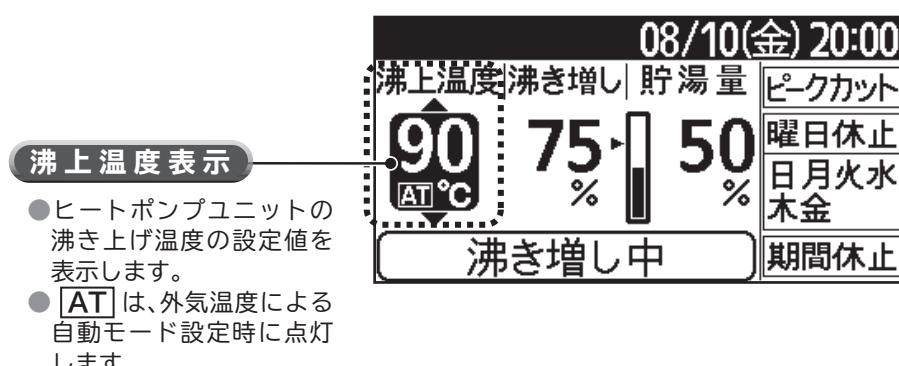
表示は標準画面です。状況により、表示内容は異なります。

ご使用の前に



沸き上げ温度変更時

■沸き上げ温度ボタンを押すと、リモコン画面の「給湯温度」表示部が、「沸上温度」に変わります。



知っておいていただきたいこと

- 約30秒以上ボタンの操作をしないと自動的にバックライトが消えます。
ただし、再度ボタンを押すとバックライトが再点灯します。

操作項目一覧

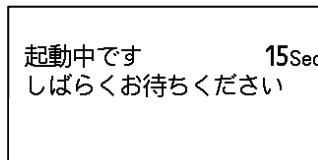
■リモコンの操作方法が下記の様になります。

操作項目	概要	操作ボタン	頁
時刻の設定	現在の日付と時刻を設定します。	時刻設定 (3秒押し)	☞ 11ページ
給湯温度の設定	「設定温度給湯」の給湯温度を設定します。 (35℃~48℃の1℃毎と50℃, 55℃, 60℃を選択可)	給湯温度	☞ 12ページ
沸き増し量の変更	貯湯ユニットの沸き上げる量を設定します。 (0%, 25%, 50%, 75%, 100%を選択可)	沸き増し設定	☞ 13ページ
沸き上げ温度の設定	ヒートポンプユニットの沸き上げ温度を設定します。 (90℃~65℃の5℃毎と自動を選択可)	沸き上げ温度	☞ 14ページ
沸き上げ時間の設定	貯湯時間の設定をします。 (貯湯時間内は、全量(100%)沸き上げをします)	沸き上げ時間	☞ 15ページ
ピークカットの設定	ピークカット時間の設定をします。 (ピークカット時間内は沸き上げ運転を行いません)	ピークカット	☞ 16, 17ページ
休止設定	沸き上げ運転を休止する設定をします。 (日数休止, 曜日休止, 期間休止を選択可)	休止設定	☞ 18~24ページ
設定ロック	「給湯温度」「沸き増し量」「沸き上げ温度」の操作をできなくすることができます	設定ロック	☞ 25ページ
ボタン音量の設定	ボタンの音量を設定します。	オプションメニュー	☞ 26ページ
画面コントラストの設定	画面コントラストの設定します。	オプションメニュー	☞ 26ページ
実績の表示	各曜日の過去3週間の残湯量を表示します。	オプションメニュー	☞ 27ページ
給湯量の表示	現在又は過去1週間の各曜日毎の給湯量を表示します。	オプションメニュー	☞ 28ページ

電源の投入

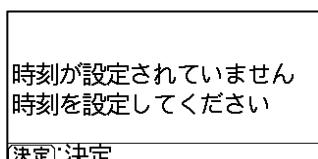
1 電源を投入します。

●電源を投入するとリモコン画面点灯後、初期設定を行います。(約90秒)



●初期設定が終わると、標準画面に移行します。

但し、初期設定後、時刻が設定されていない場合は、下記画面が表示されると同時にアラーム音が鳴ります。



2

決定
(アラーム音停止)

を押し、時刻設定を行ってください。(日付/時刻の合わせかたを参照)

◆日付／時刻の合わせかた

■日付/時刻を必ず合わせてください。

■標準画面より設定できます。



1 リモコンの蓋を開きます。

時刻設定ボタンを3秒長押します。

●「日付設定」画面になります。

2 で、「年」「月」「日」を選択し、それぞれを変更し 決定 を押します。

●「時刻設定」画面になります。



3 で、「時」「分」を選択し、それぞれを変更し 決定 を押します。

●「設定完了」の画面表示後に、「標準画面」に戻ります。



知っておいていただきたいこと

●リモコン接続をした給湯機の電源投入後は、時刻を必ず合わせてください。

時刻を合わせないと正常な運転ができなくなります。

●時計は一度設定すると、停電等で電源が遮断されても通電再開後は現在時刻に復帰します。(但し、48時間以内)

●時計は季節(周囲温度)の変化や停電により誤差が発生します。

月に1回程度時刻の確認をしてください。

◆ 給湯温度の設定のしかた

■「設定温度給湯」の給湯温度を設定します。

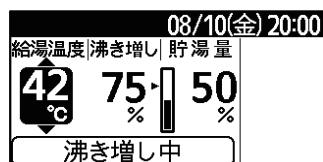
■標準画面より設定できます。



給湯温度設定ボタン

1 給湯温度 ボタンを押します。

●画面の「給湯温度」の温度表示部が反転します。



2 上下ボタンで給湯温度を変更します。

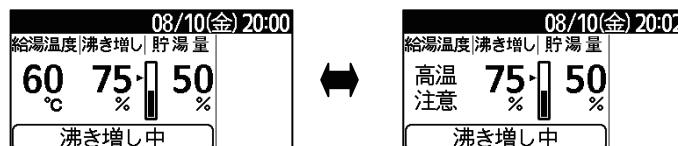
上下ボタンにより給湯温度が、下記の様に変化します。



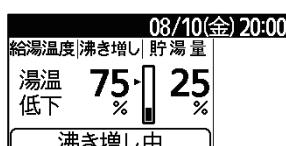
3 決定 ボタンで確定します。

知っておいていただきたいこと

- 出荷時設定は、42°Cになっています。
- 給湯温度の設定は、一度設定すると設定を変更するまで保持されます。
(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 給湯設定温度を50°C以上の高温でご使用の場合は、湯切れ防止のために、沸き上げ設定温度を80°C以上にしてご使用ください。また、沸き上げ温度が給湯設定温度より20°C以上高くなるように制御していますので、沸き上げ温度が低い場合に給湯温度の設定を上げると沸き上げ温度を自動的に上げる場合があります。
- 「60°C」「55°C」「50°C」を選択した場合には、やけどに注意していただくため画面の「給湯温度」の温度表示部が変化してお知らせします。



- 貯湯ユニット内の湯温低下や給湯流量が多い場合等では、設定した給湯温度で給湯できない場合があります。このような時は、画面の「給湯温度」の温度表示部に「湯温低下」が表示されますので給湯量を少なくするか、給湯を停止し貯湯ユニット内の温度(湯温)が回復するのをお待ちください。



- 給湯(温度設定)中に、高温給湯(タンク直接)を行うと、給湯温度が変動する場合があります。
- 設定ロック中は、「給湯温度」ボタンを押すと「設定ロック中」画面が表示されます。(☞ 25ページ)

◆沸き増し量の設定のしかた

- 沸き増し時間帯(沸き上げ時間帯以外)の沸き増し量(目標貯湯量)を設定します。
- 標準画面より設定できます。



1 [沸き増し設定] ボタンを押します。

- 画面の「沸き増し」部の量(%)が反転します。



2 [↑ ↓] で沸き増し量を変更します。

上下ボタンにより沸き増し量が、下記の様に変化します。



3 [決定 /アラーム音停止] で確定します。

知っておいていただきたいこと

- 出荷時設定は、沸き増し設定100%になっています。
- 沸き増し量の設定は、一度設定すると設定を変更するまで保持されます。
(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 設定ロック中は、[沸き増し設定] ボタンを押すと「設定ロック中」画面が表示されます。(☞ 25ページ)

◆ 沸き上げ温度の設定のしかた

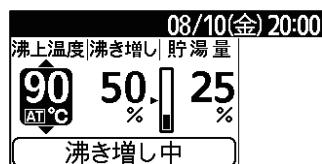
- ヒートポンプユニットで沸き上げる温度の設定です。外気温度によって沸き上げる温度を自動で選択する自動モードと常に設定した温度で沸き上げる温度固定モードの2通りがあります。
- 温度固定モードでは設定温度を6段階(90°C、85°C、80°C、75°C、70°C、65°C)に変更できます。
- 標準画面より設定できます。



1 リモコンの蓋を開きます。

ボタンを押します。

- 画面の「給湯温度」が「沸上温度」に変わり温度表示が反転します。



2 で温度を変更します。上下ボタンにより沸上温度が、下記の様に変化します。



※自動モード選択時は、温度表示部に **AT** が表示されます。（＊は、外気温度により変化します。）

※沸き上げ温度は、給湯設定温度より20°C以上高くなるように設定してください。

沸き上げ温度を下げて、給湯設定温度との差が20°C未満になるとリモコンの画面には右のような表示が出ます。

右の表示は、給湯設定温度が46°C以上で沸き上げ温度を65°Cに設定しようととした場合の表示例です。

沸き上げ温度を下げると
設定温度の給湯ができなく
なります
沸き上げ温度の設定は
70°C以上にしてください

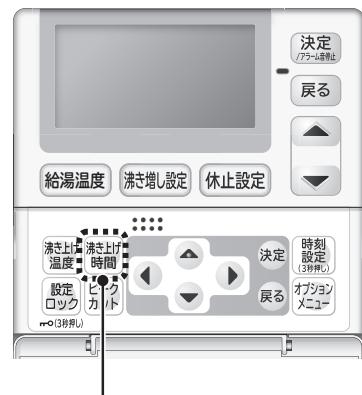
3 **決定** で確定します。

知っておいていただきたいこと

- 出荷時設定は、90°Cになっています。
- 沸き上げ温度の設定は一度設定すると、再度設定し直しするまで保持されます。
(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 自動モード設定の場合、夏期では沸き上げ温度を低温にして効率のよい運転をし、給湯使用量が多くなる冬期は沸き上げ温度を高温にして使用湯量を確保します。
食器洗浄機、茹麺機などに高温給湯して使用する場合は、温度固定モードでご使用ください。
- タンクに貯湯されている温度は、配管やタンク放熱などにより沸き上げした温度（リモコン設定温度）よりも低下します。
- 設定ロック中は、 ボタンを押すと「設定ロック中」画面が表示されます。（☞ 25ページ）

◆沸き上げ時間の設定のしかた

- 沸き上げ時間とは、お湯を使わない時間帯にタンクを全量貯湯する沸き上げ運転を行う時間です。(1時間単位で設定)
- 標準画面で設定できます。



1 リモコンの蓋を開きます。

ボタンを押します。

●画面が沸き上げ時間の開始時刻入力画面に変わります。

2 で、「開始時刻」を変更し、 決定 を押します。

●画面が沸き上げ時間の終了時刻入力画面に変わります。



3 で、「終了時刻」を変更し、 決定 を押します。

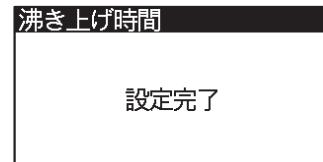
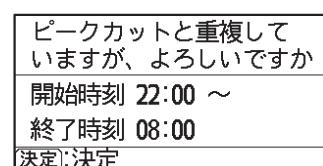
●設定確認画面に変わります。

※ピークカット時間と重複している場合は、注意喚起画面を表示します。



4 設定内容を確認し、 決定 を押します。

●設定完了画面が表示された後に標準画面に変わります。



知っておいていただきたいこと

- 出荷時は、開始時刻22:00、終了時刻08:00に設定されています。
- 設定時間は、開始時刻から最大21時間となります。
- 沸き上げ開始時刻と終了時刻は一度設定すると、再設定するまで給湯機内に保持されます。
(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 沸き上げ開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定すると、沸き上げ運転は行いません。

◆ピーカットの設定のしかた

■ピーカット設定をした時間帯は、給湯機の運転を行いません。

電力使用量がピークとなる時間帯に合わせてピーカット設定しておくことにより、給湯機の運転を停止してご契約の電力量の超過を防ぐことができます。

■1時間単位で設定ができ、最長12時間まで設定できます。

■標準画面より設定できます。



■「ピーカット」の設定方法

1 リモコンの蓋を開きます。

ピークカットボタンを押します。

●ピーカット設定画面に変わります。

2 で、「有り(変更)」を選択し 決定 を押します。

●画面がピーカットの開始時刻入力画面に変わります。



3 で、「開始時刻」を入力し 決定 を押します。

●画面がピーカットの終了時刻入力画面に変わります。



4 で、「終了時刻」を入力し 決定 を押します。

●設定確認画面に変わります。

※沸き上げ時間と重複している場合は、注意喚起画面を表示します。



5 設定内容を確認し、決定 を押します。

●設定完了画面が表示された後に標準画面に変わります。

●標準画面の右側に、「ピーカット」が表示されます。

※ピーカットと沸き上げ時間が重複すると全量貯湯が行えず翌日の湯切れの恐れがありますので、できるだけさけてください。



◆ピークカットの設定のしかた

■「ピークカット」の解除方法

1 リモコンの蓋を開きます。

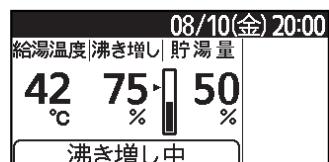
 ピークカットボタンを押します。

- ピークカット設定画面に変わります。

2  で、「無し」を選択し 決定を押します。

- 設定完了画面が表示された後に標準画面に変わります。

- 標準画面の右側に、「ピークカット」が消えます。



知っておいていただきたいこと

- 出荷時は、ピークカット「無し」に設定されています。
- 12時間を超える設定はできません。
- ピークカットは一度設定すると、再度設定するまで給湯機内に保持されます。
(電源が遮断されても、設定は消えません)

◆給湯機の運転休止のしかた

- 給湯機を使用しない日は給湯機の運転を休止させ、不要な運転を省きます。
- 本機では「日数休止」「曜日休止」「期間休止」の3種類から選択できます。
- 標準画面より設定できます。

日数休止

■「日数休止」とは。

- 「日数休止」は1~9日の1日単位で設定できます。
- 「日数休止」は設定が確定後直ちに休止となります。
- 「日数休止」の考え方方は下記の様になります。

沸き上げ運転を行わない回数を設定します。(運転開始までの、沸き増し運転も行いません)

(例)

- 現在が金曜日(時刻が20:00)で、土曜日、日曜日が休日で月曜日の朝からお湯を使いたい場合。
(貯湯時間設定…22:00~08:00)
- 休止日数は2日を設定します。
- 金曜日と土曜日の沸き上げ運転を休止して、日曜日の沸き上げ運転から運転を開始します。
(休止設定が確定した直後から、日曜日の沸き上げ運転開始までの、給湯機の貯湯運転は行いません)

リモコンの使用方法

1

休止設定ボタンを押します。

- 休止設定画面に変わります。

2

によりタブの「日数」を選択し 決定ボタンを押します。

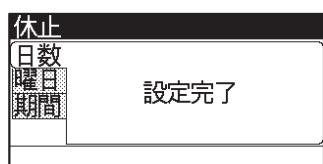
- 日数選択部にカーソルが移動します。



3

により休止したい日数を決め 決定ボタンを押し確定します。

- 設定完了画面になり、休止中画面に変わります。



◆給湯機の運転休止のしかた

■「日数休止」の設定変更方法

1 休止中画面表示時に **休止設定** ボタンを押します。

- 休止解除・設定変更画面に変わります。

2 リモコンの蓋を開きます。

- により「設定変更」を選択し **決定** ボタンを押します。

- 設定変更画面に変わります。

3 によりタブの「日数」を選択し **決定** ボタンを押します。

- 日数選択部にカーソルが移動します。

4 により休止したい日数を決め **決定** ボタンを押し確定します。

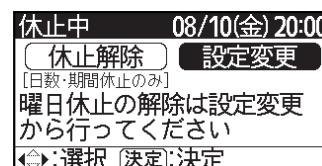
- 設定完了画面になり、休止中画面に変わります。

※日数を0日に設定すると日数休止を解除します。



■「日数休止」の解除方法

1 休止中画面表示時に **休止設定** ボタンを押します。



2 リモコンの蓋を開きます。

- により「休止解除」を選択し **決定** ボタンを押します。

- 解除完了画面になり、標準画面に変わります。



※休止解除を行うと「期間休止」が設定されている場合は、「期間休止」も同時に解除されます。

「日数休止」のみ解除したい場合は、設定変更より行ってください。

知っておいていただきたいこと

- 休止中は、沸き上げ運転を行いません。(凍結防止運転除く)
- 停電等で電源が遮断された場合は、休止状態は解除されます。
- リモコンの通信異常があった場合は、休止状態は解除されます。

◆ 給湯機の運転休止のしかた

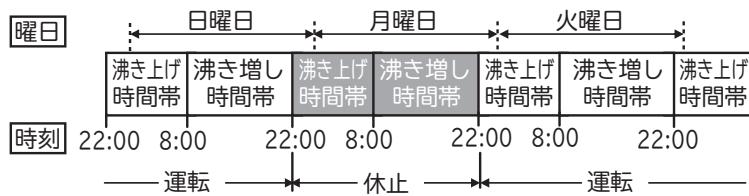
曜日休止

■「曜日休止」とは。

- 「曜日休止」は休止設定した曜日に給湯機を毎週休止させることができます。(最大6曜日設定可)
- 「曜日休止」の考え方は下記の様になります。

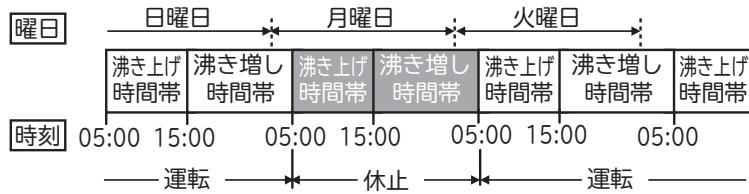
(例) 1 営業時間：10：00～20：00で月曜日が定休日の場合(沸き上げ時間設定…22：00～08：00)

- 休止設定が月曜日の場合



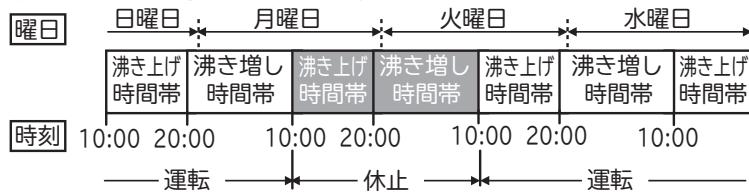
(例) 2 営業時間：17：00～05：00で月曜日が定休日の場合(沸き上げ時間設定…05：00～15：00)

- 休止設定が月曜日の場合



(例) 3 営業時間：22：00～08：00で月曜日が定休日の場合(沸き上げ時間設定…10：00～20：00)

- 休止設定が月曜日の場合 ※沸き上げ終了時刻が0：00も含む



■「曜日休止」の設定方法

1

休止設定 ボタンを押します。

- 休止設定画面に変わります。



2

によりタブの「曜日」を選択し 決定 ボタンを押します。

- 曜日選択部にカーソルが移動します。



3

リモコンの蓋を開きます。

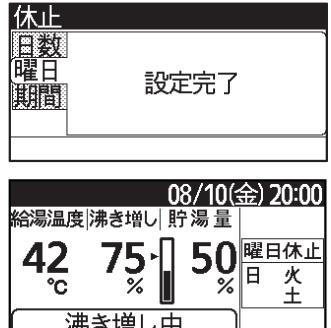
により休止したい曜日で「休」に変更します。
(運：運転、休：休止を示します。)



4

設定終了後、決定 ボタンを押し確認します。

- 設定完了画面になり、標準画面に変わります。
- 標準画面の右側に、「曜日休止」と設定した曜日が表示されます。



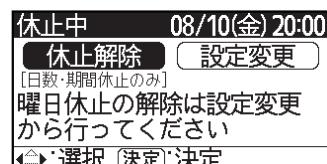
◆給湯機の運転休止のしかた

■「曜日休止」の設定変更・解除方法

- 休止中の場合

1 休止中画面表示時に  ボタンを押します。

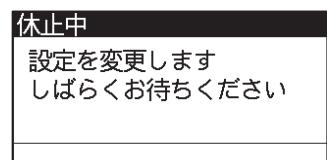
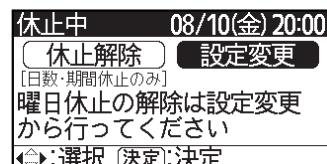
- 休止解除・設定変更画面に変わります。



2 リモコンの蓋を開きます。

- により「設定変更」を選択し  ボタンを押します。

- 休止設定画面に変わります。

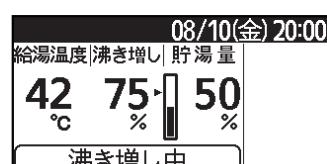
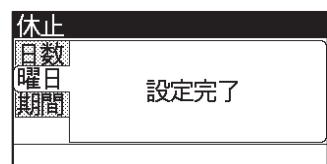


3 により休止を解除したい曜日で「運」に変更します。
(運:運転、休:休止を示します。)



4 設定終了後、ボタンを押し確認します。

- 設定完了画面になり、標準画面に変わります。
- 標準画面の右側に、解除した曜日が消えます。
(全ての曜日を解除した場合は「曜日休止」も消えます。)



- 休止中ではない場合

1 20ページ「曜日休止」の設定方法より休止解除をしたい曜日を「休」→「運」に変更してください。

知っておいていただきたいこと

- 休止に入ると、休止中画面に切り替わります。
- 「曜日休止」の設定した曜日が現在の曜日と同じ場合は、設定完了後直ちに運転を停止し、休止に入ります。
- 「曜日休止」の設定は一度設定すると、再度設定するまで保持されます。
(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 「曜日休止」は、休止解除からは解除をすることはできません。休止を解除する場合は設定変更を行ってください。

◆ 給湯機の運転休止のしかた

期間休止

■「期間休止」とは。

- 「期間休止」は休止する期間を指定した開始日、終了日を年月日で設定することができます。(最大30日間設定可)
- 「期間休止」の考え方は下記の様になります。

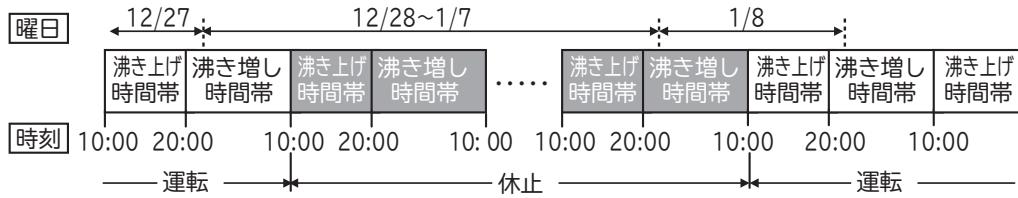
(例) 1 期間休止設定 : 2010/12/28~2011/01/07 設定の場合 (沸き上げ時間設定…22:00~08:00)



(例) 2 期間休止設定 : 2010/12/28~2011/01/07 設定の場合 (沸き上げ時間設定…05:00~15:00)



(例) 3 期間休止設定 : 2010/12/28~2011/01/07 設定の場合 (沸き上げ時間設定…10:00~20:00)



■「期間休止」の設定方法

1

休止設定 ボタンを押します。

- 休止設定画面に変わります。

休止	08/10(金) 20:00
日数	
曜日	1 日
期間	
△:選択	

2

によりタブの「期間」を選択し 決定 ボタンを押します。

- 期間選択部にカーソルが移動します。

休止	08/10(金) 20:00
日数	開始 2012 / 08 / 10
曜日	終了 2012 / 08 / 11
期間	
△:選択	

3

リモコンの蓋を開きます。

により休止したい開始日を設定し 決定 ボタンを押します。

- カーソルが終了日に移動します。

により終了日を設定します。

休止	08/10(金) 20:00
日数	開始 2012 / 08 / 10
曜日	終了 2012 / 08 / 11
期間	
△:選択 △:設定 (決定):決定	

休止	08/10(金) 20:00
日数	開始 2012 / 09 / 28
曜日	終了 2012 / 10 / 17
期間	
△:設定 (決定):決定	

4

設定終了後、決定 ボタンを押します。

- 設定にカーソルが移動します。

決定 ボタンを押し確定します。

- 設定完了画面になり、標準画面に変わります。

- 標準画面の右側に、「期間休止」が表示されます。

休止	設定完了
日数	
曜日	
期間	
△:設定完了	

給湯温度	08/10(金) 20:00
沸き増し	
貯湯量	
42 °C	75 %
50 %	
△:沸き増し中	
△:期間休止	

◆給湯機の運転休止のしかた

■「期間休止」の設定変更方法

- 休止中の場合

1 休止中画面表示時に **休止設定** ボタンを押します。

- 休止解除・設定変更画面に変わります。

2 リモコンの蓋を開きます。

により「設定変更」を選択し **決定** ボタンを押します。

- 休止設定画面に変わります。

3 によりタブの「期間」を選択し **決定** ボタンを押します。

- 期間選択部にカーソルが移動します。

4 により変更したい開始日を設定し **決定** ボタンを押します。

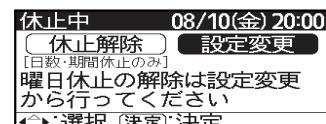
- カーソルが終了日に移動します。

により変更したい終了日を設定し **決定** ボタンを押します。

- 設定変更部にカーソルが移動します。

5 設定内容を確認し、**決定** ボタンを押します。

- 設定完了画面になり、休止中画面に変わります。
(休止期間ではない場合は、標準画面に変わります。)



- 休止中ではない場合

1 **休止設定** ボタンを押します。

- 休止解除・設定変更画面に変わります。

2 リモコンの蓋を開きます。

によりタブの「期間」を選択し **決定** ボタンを押します。

- 期間選択部にカーソルが移動します。

3 により変更したい開始日を設定し **決定** ボタンを押します。

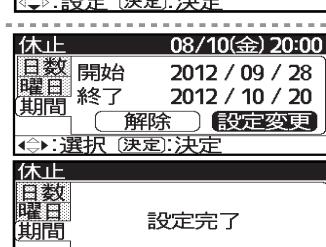
- カーソルが終了日に移動します。

により変更したい終了日を設定し **決定** ボタンを押します。

- 設定変更部にカーソルが移動します。

4 設定内容を確認し、**決定** ボタンを押します。

- 設定完了画面になり、標準画面に変わります。



◆ 給湯機の運転休止のしかた

■「期間休止」の解除方法

●休止中の場合

1 休止中画面表示時に **休止設定** ボタンを押します。

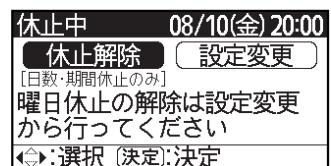
●休止設定・設定変更画面に変わります。

2 リモコンの蓋を開きます。

により「休止解除」を選択し **決定** ボタンを押します。

●解除完了画面になり、標準画面に変わります。

●標準画面の右側に、「期間休止」が消えます。



●休止中ではない場合

1 **休止設定** ボタンを押します。

●休止設定画面に変わります。



2 によりタブの「期間」を選択し **決定** ボタンを押します。

●期間選択部にカーソルが移動します。

3 リモコンの蓋を開きます。

により「解除」を選択し **決定** ボタンを押します。

●解除完了画面になり、標準画面に変わります。

●標準画面の右側に、「期間休止」が消えます。



知っておいていただきたいこと

- 休止に入ると、休止中画面に切り替わります。
- 休止開始日は、当日以降、終了日は、開始日の翌日以降の設定ができます。
- 「期間休止」の設定した期間に現在日が含まれる場合は、設定完了後直ちに運転を停止し、休止に入ります。
- 「曜日休止」の設定は一度設定すると、再度設定するまで保持されます。
(電源が遮断されても、設定は消えません)
- 「期間休止」解除時に、「日数休止」中である場合は、「日数休止」も同時に解除されます。

◆設定ロックの設定のしかた

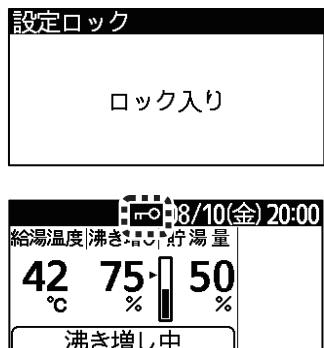
- 本設定することにより、「給湯温度」「沸き増し量」「沸き上げ温度」の操作をできなくすることができます。
- 標準画面より設定できます。



1 リモコンの蓋を開きます。

**設定
ロック** ボタンを3秒長押します。

- 「ロック入り」画面が表示し、3秒後に標準画面に戻ります。
※標準画面に が表示されます。



※設定ロック中に「給湯温度」「沸き増し量」「沸き上げ温度」のボタンを押すと、
設定ロック中画面が表示されます。

→設定ロック中です
解除方法：
設定ロックボタン長押し

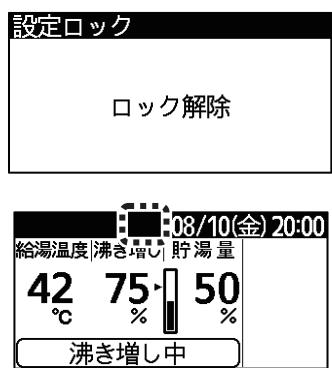
■設定ロックの解除方法

- 標準画面より解除できます。

1 リモコンの蓋を開きます。

**設定
ロック** ボタンを3秒長押します。

- 「ロック解除」画面が表示し、3秒後に標準画面に戻ります。
※標準画面の が消えます。



知っておいていただきたいこと

- 出荷時設定は、設定ロックは「解除」に設定されています。
- 停電等の電源遮断時は、設定ロックは解除されます。

◆ オプションメニューの設定のしかた

■「オプションメニュー」により下記の設定/確認をすることができます。

- 「ボタン・アラーム音量設定」
- 「画面コントラスト設定」
- 「実績表示」
- 給湯量（現在）
- 給湯量（1日）



ボタン・アラーム音量設定

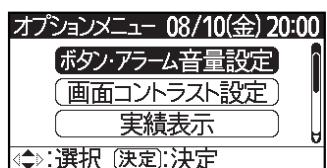
1 リモコンの蓋を開きます。

ボタンを押します。

- オプションメニュー画面に変わります。

2 で、「ボタン・アラーム音量設定」を選択し **決定** を押します。

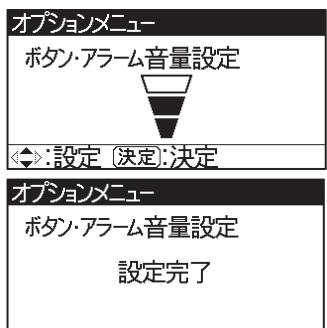
- ボタン音設定画面を表示します。



3 で、好みの音量に選択し **決定** を押します。

(音量は、3段階と消音を選択できます。)

- 設定完了画面が表示された後にオプションメニュー画面に変わります。



画面コントラスト設定

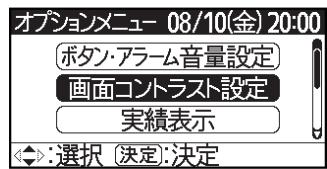
1 リモコンの蓋を開きます。

ボタンを押します。

- オプションメニュー画面に変わります。

2 で、「画面コントラスト設定」を選択し **決定** を押します。

- 画面コントラスト設定画面を表示します。



3 で、好みの濃さに選択し **決定** を押します。

(コントラストは、16段階で選択できます。)

- 設定完了画面が表示された後にオプションメニュー画面に変わります。



知っておいていただきたいこと

- ボタン・アラーム音量を消音に設定すると、お知らせ表示や、湯切れアラーム音が鳴りません。
- ボタン・アラーム音量、画面コントラストは一度設定すると、再設定するまで給湯機内に保持されます。
(電源が遮断されても、設定は消えません)

◆オプションメニューの設定のしかた

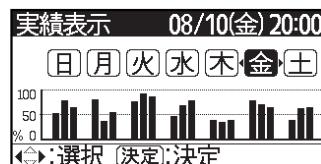
- 各曜日の過去3週間の残湯量（貯湯開始時刻時）を確認することができます。
さらに、1日（00：00～24：00）の2時間毎の残湯量の表示が可能です。（過去3週間）
- 標準画面より確認できます。

■「実績表示」の確認方法

1 リモコンの蓋を開きます。

 実績表示 ボタンを押します。

●実績表示画面に変わります。



2 各曜日の詳細を見たい場合は

 で、確認したい曜日を選択し 決定 を押します。

●各曜日の詳細画面を表示します。



 で、「一週前」「二週前」「三週前」に変更し確認します。



知っておいていただきたいこと

- 過去3週間の残湯量表示（棒グラフ）は、該当日の貯湯開始時刻の残湯量を左から過去からの順で%表示します。また、当日湯切れが発生した来歴がある場合、点滅表示になります。
- 1日の2時間毎の残湯量表示は、表示時刻（2時間毎に設定）の残湯量をそれまでの2時間分の残湯量として表示します。（2時間内の残湯量の変化を随時表示したり、平均を表示するものではありません。）

◆オプションメニューの設定のしかた

■給湯量(現在), 給湯量(1日)ともに、「設定温度給湯量」, 「高温給湯量」を確認することができます。

給湯量(現在)

1 リモコンの蓋を開きます。

オプションメニュー ボタンを押します。

●オプションメニュー画面に変わります。

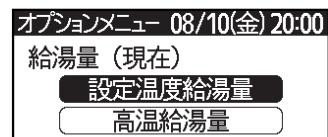
2 リモコンのボタンで、「給湯量(現在)」を選択し 決定 を押します。

●選択画面を表示します。



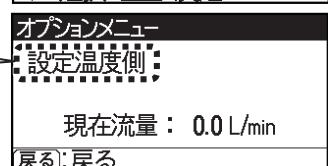
3 リモコンのボタンで、「設定温度給湯量」, 「高温給湯量」を選択し 決定 を押します。

●選択された給湯量表示画面を表示します。



4 確認後 戻る を押します。

高温給湯量を選択した場合は
「高温側」を表示



給湯量(1日)

1 リモコンの蓋を開きます。

オプションメニュー ボタンを押します。

●オプションメニュー画面に変わります。

2 リモコンのボタンで、「給湯量(1日)」を選択し 決定 を押します。

●選択画面を表示します。



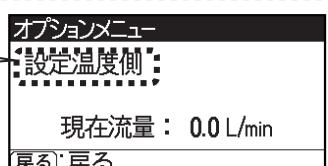
3 リモコンのボタンで、「設定温度給湯量」, 「高温給湯量」を選択し 決定 を押します。

●選択された給湯量表示画面を表示します。



4 確認後 戻る を押します。

高温給湯量を選択した場合は
「高温側(1日)」を表示



知っておいていただきたいこと

●給湯量(1日)は0時00分から23時59分まで利用した量の値となります。

凍結防止

■本体周囲温度が0°C以下となる環境では給水・給湯およびユニット間配管内の水が凍結し、給水・給湯およびユニット間配管・本体機器の破損の原因となる場合があります。
販売店・据付工事店へ相談し、適切な凍結防止対策を必ず行ってください。
また、ご使用時、本体周囲温度が0°Cを下回る恐れのある場合は、製品本体および現地施工部分の配管の凍結を防止するため、必ず下記の処置を行ってください。

凍結防止ヒータを使う

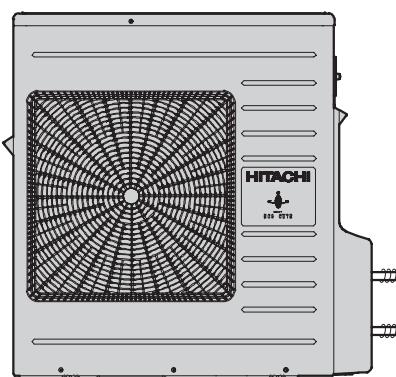
(作業は販売店、据付工事店にご依頼ください。)

- 凍結する恐れのある配管部分すべてに凍結防止ヒータを巻きつけてください。（下図参照）
ヒートポンプユニットと貯湯ユニットの接続配管にも凍結防止ヒータを巻きつけてください。
- 冬期にはすべての凍結防止ヒータのプラグをコンセントに差し込みます。
凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。

貯湯ユニット



ヒートポンプユニット



ヒートポンプユニット出口配管

ヒートポンプユニット入口配管

凍結防止ヒータプラグ

設定温度給湯配管

高温給湯配管

給水配管

上手な使い方

お願い

給湯システムを使用しない間に配管等が凍結する恐れがある場合は、本体の電源を切らないでください。
(本体の電源を入れておかないと本体内部の配管、部品が凍結により破損する恐れがあります。)
長期間ご使用にならない場合などで本体の電源を切る場合は、お買い上げの販売店または据付工事店に連絡して給湯システム全体の水抜き処理を行ってください。(☞ 30ページ)

◆メンテナンス時又は長期間運転を停止するとき

- メンテナンス時又は1ヶ月以上、給湯機を使用しないときは電源スイッチを「切(OFF)」にし、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水を抜いてください。
- 水抜きは設置した業者あるいは販売店にご依頼ください。

お願い

- 貯湯ユニットの排水の前に必ず混合水栓を開き、ぬるい水が出てくるまでお待ちください。
- 貯湯ユニット排水時に熱湯が排水されることを防止するため、貯湯ユニット内の高温水を水にしてから排水してください。

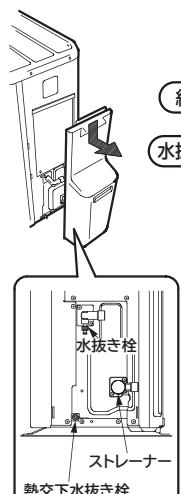
排水のしかた

- 1 ヒートポンプユニット右側のカバーを取り外して電源スイッチを「切」にします。
- 2 給湯機の専用止水栓を閉じます。
- 3 貯湯ユニットの逃し弁のレバーを上げてください。(タンクに空気を入れ排水できるようにします。)
- 4 貯湯ユニットの排水栓を「排水」の位置まで左に回し排水を行います。
排水溝から水があふれないように排水栓の開き具合を調整してください。
- 5 貯湯ユニットの「給水水抜き栓」「給湯水抜き栓」(2ヶ所)「ヒートポンプA側水抜き栓」「ヒートポンプB側水抜き栓」を開きます。
- 6 貯湯ユニットの給湯ポンプの「水抜き栓」と給湯熱交換器の「水抜き栓」(2ヶ所)を開きます。
- 7 貯湯ユニットの排水が終わったら、排水栓を「通常」の位置に戻し逃し弁のレバーを下げます。
また、各「水抜き栓」を閉じます。
- 8 ヒートポンプユニットのバルブカバーを取り外し「水抜き栓」「熱交下水抜き栓」「ストレーナー」を開き、水を抜きます。
(熱い湯が出る場合がありますのでご注意ください。)
- 9 ヒートポンプユニットの排水が終わったら、各「水抜き栓」と「ストレーナー」を閉じます。
- 10 ヒートポンプユニットのバルブカバー元通りに取り付けます。

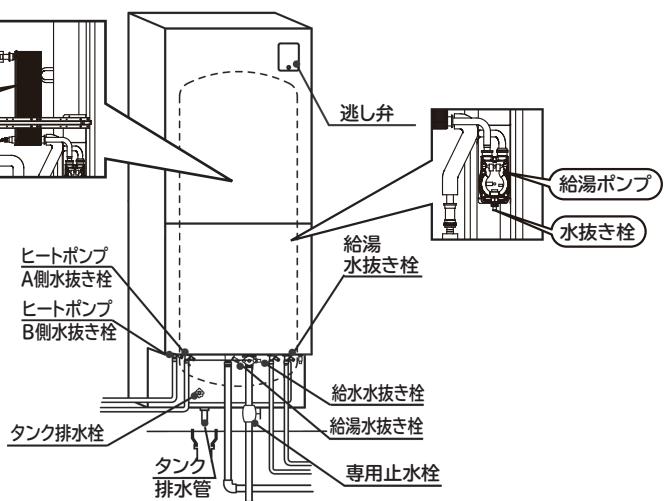
お願い

- 水抜き終了後に貯湯ユニットの逃し弁のレバーが下がっていること、排水栓が閉じていることを確認してください。また、ヒートポンプユニットの水抜き栓4カ所(ポンプと各配管接続部)が閉じていることを確認してください。
- 再び給水するときは、「給水のしかた」の手順を行ってください。(☞ 31ページ)

ヒートポンプユニット



貯湯ユニット



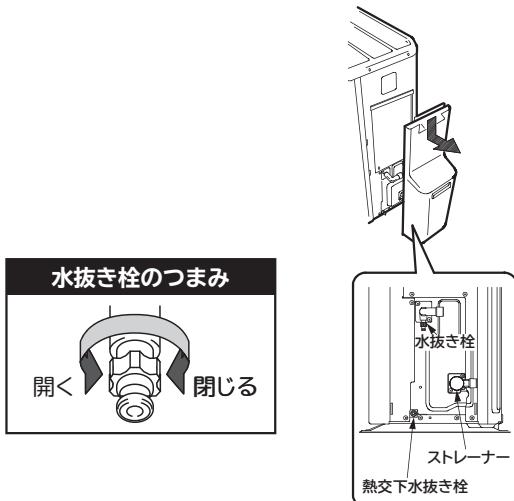
◆メンテナンス時又は長期間運転を停止するとき

■給水時は、本操作以外に給湯回路部のエア抜きが必要なため設置業者あるいは販売店にご依頼ください。

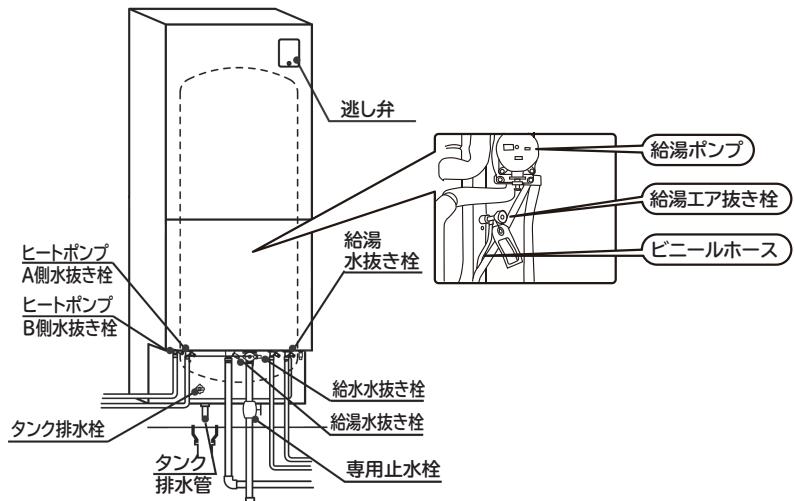
給水のしかた

- 1 シンクなどのすべての湯水混合栓が閉じていることを確認してください。
- 2 貯湯ユニットの排水栓を「通常」の位置にします。
- 3 貯湯ユニット、ヒートポンプユニットの各「排水栓」が閉じていることを確認します。
- 4 逃し弁のレバーを上げてください。
- 5 給湯機の専用止水栓を開いてタンクに水を入れます。
ヒートポンプ配管に止水栓を取り付けている場合は止水栓を開いてください。タンクが満水になると、排水管から水が出ます。(約30~50分かかります。)
- 6 ヒートポンプユニットのバルブカバーを取り外し「熱交下水抜き栓」を開きます。3分以上開き、勢いよく水が出てくることを確認してください。確認しましたら閉じます。
- 7 ヒートポンプユニット「水抜き栓」を開きます。3分以上開き、勢いよく水が出てくることを確認してください。確認しましたら閉じます。
- 8 貯湯ユニットの「給湯エア抜き栓」を開きます。1分以上開けたまま水を出し続けてください。エア抜きが終了したら給湯エア抜き栓を閉めてください。
- 9 ヒートポンプユニットのバルブカバーを元通りに取り付けます。

ヒートポンプユニット



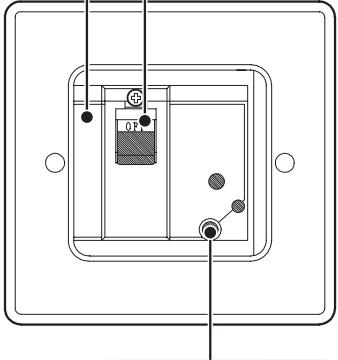
貯湯ユニット



◆電源ブレーカーを入れたときと停電後

- 時刻が設定されていない場合は、リモコンのアラームが鳴ります。リモコンのアラーム停止ボタンを押してアラームを止めてから、現在時刻を確認してください。
(☞11ページ)

◆各部の点検とお手入れ

No.	項目	時期	点検・お手入れ
1	警告  強制 	1ヶ月に1回	<p>①通電中にヒートポンプユニットの操作カバーを固定しているネジ2本を取り外し、操作カバーを開けてください。</p> <p>②漏電遮断器のテストボタンを押して、電源スイッチが「切(OFF)」になることを確かめてください。</p> <p>※万一、電源スイッチが「切(OFF)」にならない場合は、直ちに本製品の使用を中止し、販売店または据付工事店に必ずご相談ください。</p> <p>③動作確認後、必ず電源スイッチを「入(ON)」に戻してください。</p> <p>④操作カバーをネジ2本で確実に閉じてください。閉じ方が不完全ですと雨水が浸入して感電や機器が故障する恐れがあります。</p> <p>⑤時刻の確認を行ってください。 (☞ 11ページ)</p> <p>漏電遮断器 万が一、漏電が発生したときに電源を切り、感電を防止します。</p> <p>電源スイッチ</p>  <p>テストボタン 月に1回、ボタンを押して漏電遮断器の動作を確認するものです。</p>
2	HPユニットのそうじ		降灰地域等に設置の場合は、定期的にヒートポンプユニットの背面と左側面の熱交換器と熱交換器下部のツユサラ部分を水で洗い流してください。 また、ドレン水が確実に排水されることを確認してください。
3	逃し弁の確認		「逃し弁の確認方法」の手順を行ってください。(☞ 33ページ)
4	貯湯ユニットのそうじ		「貯湯ユニットのそうじ方法」の手順を行ってください。(☞ 33ページ)
5	水漏れの確認	1ヶ月に1回	給湯システム周り、配管からの水漏れがないことを確認してください。 また、排水口から水が出ていないことを確認してください。
6	HPユニット 貯湯ユニット 表面のお手入れ	汚れたとき	<p>①乾いた布または、布に台所用中性洗剤を薄めて含ませ軽く絞ってふいてください。</p> <p>②シンナーなどの溶剤は、塗装面をいためますので使用しないでください。</p>
7	リモコンのお手入れ	汚れたとき	<p>①乾いた布または、水に濡らした布を固く絞ってふき取ってください。</p> <p>②ベンジン・シンナーなどの溶剤の使用は、リモコンの変形や変色の原因になりますので、使用しないでください。</p> <p>③お湯(水)をかけて、汚れを洗い流すことはしないでください。</p>

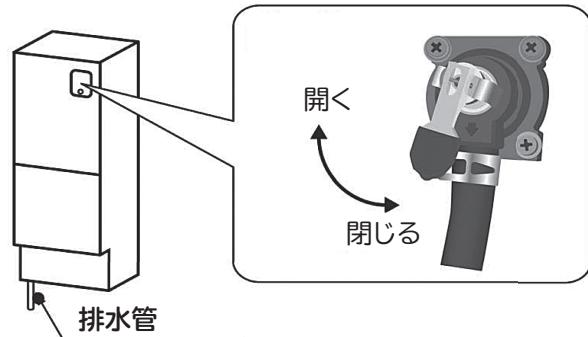
◆各部の点検とお手入れ

■逃し弁の確認方法

逃し弁は沸き上げ時、膨張水を排出し、貯湯ユニットのタンク内が高圧になるのを防ぎます。

- 1** 貯湯ユニット前面の上側の操作カバーを開けて、逃し弁のレバーを上げます。
- 2** 貯湯ユニットの排水管から、お湯（水）がでれば正常です。
- 3** 逃し弁のレバーを下げる、排水が止まるることを確認してください。操作カバーを閉じてねじを締めてください。

逃し弁は高い位置にありますので、踏み台などを使用して点検してください。
点検時は転倒しないように注意してください。



警告

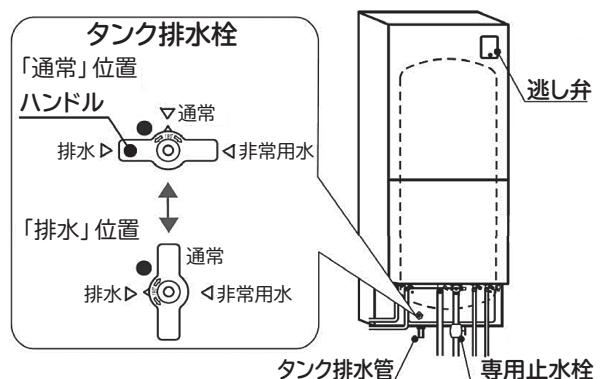
逃し弁点検時は、配管に手を触れない

手を触るとやけどをすることがあります。

■貯湯ユニットのそうじ方法

使用中、貯湯ユニット内部のタンク底部に湯あかなどの沈でん物がたまります。
タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を排出します。

- 1** 専用止水栓を閉め、上側の操作カバーを開けて逃し弁のレバーを上げます。
- 2** 排水管を「排水」の位置まで左に回し、約2分間排水してください。
- 3** 排水管を「通常」の位置まで右に回し、排水管から水が出ないことを確認し、専用止水栓を開けます。
- 4** 排水管から湯（逃し弁からの湯）が出てきたら、逃し弁のレバーを下げます。
- 5** 操作カバーを閉じて、ねじを締めてください。



警告

タンクの排水時は、お湯に手を触れない

やけどをすることがあります。

上手な使い方

◆ 故障かな？

こんな時は故障ではありません

症 状	原 因
リモコンのアラームが鳴っている。 (停電後、湯切れのとき)	停電などで給湯機の電源が遮断された後、電源が入ると時刻設定されていない場合アラームが鳴ります。アラームを消して時計の確認を行ってください。また、貯湯タンクの湯量が残り少なくなるとアラームが鳴ります。
お湯を使用していないのに、 給湯機が運転している。	貯湯ユニット内のお湯を自動的に約65~90°Cまで沸き上げています。 貯湯ユニット内のお湯の沸き上げが完了すると自動的に運転を停止します。
運転中、ヒートポンプユニット の熱交換器が霜で白くなる。	冬期運転中は熱交換器（アルミフィン）に霜がつくことがあります。 ついた霜は自動で霜取り運転を行い、取り除きます。
排水口からお湯が出ている。	沸き上げ運転時は、貯湯ユニットのタンク内の水の温度が上昇し膨張します。 この膨張分が逃し弁から排水されます。通常約20L排水します。
給湯中、ヒートポンプユニット のドレン口から水が出る。	ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収する時に、結露した水が出てきます。
お湯が白く濁って見える。	水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けた時に細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。
お湯から油が出る、お湯が臭い。	初めて使用する時は、配管工事の油やにおいがお湯に混ざって出る場合があります。しばらく使用すると消えます。

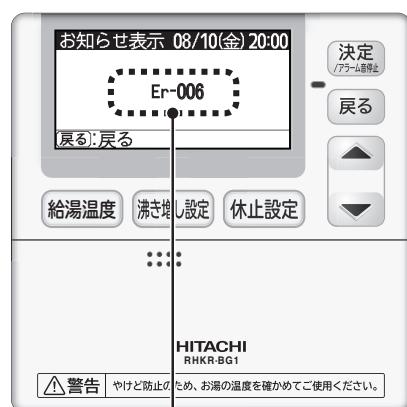
リモコンにお知らせ表示が表示された場合の処置

- 給湯機に異常が発生すると、「ピーピーピー」とアラームが鳴ります。
- 画面に、お知らせ表示コードを表示します。

異常発生(お知らせ表示コード)時の処置方法…

- お知らせ表示コードと給湯機の番号を控えてください。
- 外来ノイズ等による誤動作も考えられますので、一度電源スイッチまたはブレーカーを切った後、再度電源を投入してください。お知らせコードが消えてヒートポンプユニットはリセットされます。なお、電源投入後は必ず日付、時刻表示を確認してください。
- 上記操作後、同様のお知らせ表示が表示される場合は、据付工事店（販売店）または「お客様ご相談窓口」の連絡先までご連絡ください。

お知らせ表示が出た場合は据付工事店（販売店）またはお客様ご相談窓口に早めにご連絡ください。



給湯機番号とお知らせ表示コード

故障かな？

こんな時は調べてみましょう

症 状	原 因	処 置
リモコンの表示部が点灯しない。 (電源が入らない)	電源のブレーカーが「切(OFF)」になっている。	「切(OFF)」になっている場合は、「入(ON)」にしてください。
	リモコン接続機の給湯機の電源スイッチが「切(OFF)」になっている。	「切(OFF)」になっている場合は、「入(ON)」してください。「入(ON)」にしてもすぐ「切(OFF)」になる場合は、電源ブレーカーを「切(OFF)」にして、至急据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	停電している。	停電が復帰するまで待ってください。 停電復帰後はリモコンの時計設定を行ってください。
お湯が全く出ない。 お湯の出が悪い。	専用止水栓(給水配管)が閉じている。	開いてください。
	断水している／給水圧が低い。	水道局へ問い合わせてください。
	配管が凍結している。	据付工事店(販売店)へご連絡ください。
お湯が足りない。 お湯が出ない。 (水が出る)	リモコンの時計設定がされていない。	時計が設定されていないと、使用状況に対応した沸き上げができません。時刻を設定してください。
	リモコンで「運転休止」「ピークカット」設定している。	休止設定を取り消してください。ピークカット設定時間を短くするか、ピークカット設定を取り消してください。
	沸き上げ温度設定が低い。	沸き上げ温度(貯湯温度)を高く設定してください。
	深夜時間帯にお湯をたくさん使用した。	リモコンの貯湯量表示が「0%」のときは湯切れです。沸き上げ時間設定を変更してください。
	いつもに比べてお湯をたくさん使用した。	リモコンの貯湯量表示が「0%」のときは湯切れです。[沸き増し]の設定を変更してください。
排水口から水が流れ出ている。	逃し弁、減圧弁の故障です。	逃し弁の点検を行ってください。 ヒートポンプユニットが運転していないときでもお湯が出ている場合は、減圧弁または逃し弁の故障や、給湯側からの逆流が考えられますので、据付工事店(販売店)へご連絡ください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店または工事店へご相談ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間です。

なお、保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

移転されるときは

ご移転により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご移転先での日立の取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「一般ご相談窓口」(37ページ)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは(出張修理)

■ 使用中に異常が生じたときは、直ちに機器の電源スイッチを「切(OFF)」にし、「または分電盤のブレーカーを「切(OFF)」にして」、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをおしつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品 名	日立業務用エコキュート
形 式	RHK-10BD
お買い上げ日	年 月 日
故 障 状 況	できるだけ具体的に (リモコンに点検表示(エラーコード)が表示されている時は表示内容もお知らせください。)
ご 住 所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	() -
訪 問 希 望 日	

※形式は保証書にも記載されています。

保証期間中は

修理に際しましては保証書(別添)をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金 = 技術料 + 部品代 + 出張料
などで構成されています。

技術料

診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

出張料

商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途、駐車料金をいただく場合があります。

定期点検

●給湯システムは年月の経過により構成部品が劣化します。ご使用条件や運転状況により給湯機の性能に影響をおよぼし、機能を十分に発揮できなくなることがありますので、1年に1回の定期点検をおすすめします。(点検費用など詳しいことは販売店にご相談ください。)

定期点検の主な内容

据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認。
機能部品	電気部品(配線・導通・動作の確認) 弁類(減圧弁・逃し弁)などの点検および消耗部品の交換。

定期点検

機器予防保全の目安

ご使用条件：（1）頻繁な発停の無い、通常のご使用状態であること。

（2）製品稼働時間は4400時間/年と仮定します。

運転状況によっては点検周期および保全周期が異なります。例えば、下記の項目に適合するときには、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

- 温度、湿度の高い場所または、その変化の激しい場所でご使用される場合。
- 電源（電圧、周波数、波形歪みなど）や負荷変動が大きい場所でご使用される場合。
- 振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。

部 位	部 品	交換の目安
冷媒回路	圧縮機	35,000時間
	電動膨張弁	10年
水回路	循環ポンプ（HPユニット）	20,000時間
	流量センサー	5年
	減圧弁	5年
	逃がし弁	5年
	給湯ポンプ（貯湯ユニット）	10,000時間
	三方弁（貯湯ユニット）	5年
	給湯用熱交換器（貯湯ユニット）	5年
送風機	ファンモータ	20,000時間
電気回路	インバータ	8年
	パワーモジュール	8年

注：本表は主要部品を示します。

表中の保全周期は保証期間を示すものではありません。

この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全計画（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

- 故障の発生は、定期点検実施の場合でも、予期できない突発的偶発故障が発生する場合があります。
この場合、保証期間外での故障修理は有償になります。

お客様ご相談窓口

日立製品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-649-020
FAX 0120-649-021

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-19
FAX 0120-3121-34

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

アフターサービス

形 式		ヒートポンプユニット RHK-10BD	貯湯ユニット RHK-T56BD
種類(設置場所)		屋外式	
電源		三相200V	
周波数		50 / 60Hz	
最大電流		12A	
外形寸法(高さ×幅×奥行)		920mm×792(+117)mm×299(+62)mm	2,132mm×685mm×800mm
質量	製品時	73kg	83kg
	満水時	—	643kg
中間期	加熱能力(※)	標準/高温	10.0kW/10.0kW
	消費電力(※)	標準/高温	2.270kW/3.030kW
	COP(※)	標準/高温	4.4/3.3
夏期	加熱能力(※)	標準/高温	9.0kW/9.0kW
	消費電力(※)	標準/高温	1.875kW/2.500kW
	COP(※)	標準/高温	4.8/3.6
冬期	加熱能力(※)	標準/高温	9.0kW/9.0kW
	消費電力(※)	標準/高温	2.250kW/2.800kW
	COP(※)	標準/高温	4.0/3.2
着霜期	加熱能力(※)	標準/高温	7.1kW/7.5kW
	消費電力(※)	標準/高温	2.300kW/2.780kW
	COP(※)	標準/高温	3.1/2.7
運転音	中間期/冬期高温(※)	47/51dB	—
使用冷媒(封入量)	R744(1.25kg)	—	—
設計圧力	13.3MPa	—	—
タンク容量	—	560L	—
沸き上げ温度	65~90°C	—	—
給湯時消費電力	60W	—	—
タンク保温性能	—	2.5°C	—
水側最高使用圧力	190kPa(減圧弁170kPa)/温度設定給湯経路	200~500kPa	—
リモコン	別売(RHKR-BG1)	—	—

※加熱能力、消費電力の測定条件は下の条件表を参照ください。(JRA4060:2009に準拠)

条件表

(単位:°C)

		利用側		熱源側	
		冷温水		空気温度	
		入水温度	出湯温度	乾球温度	湿球温度
中間期条件	標準	17	65	16	12
	高温		90		
夏期条件	標準	24	65	25	21
	高温		90		
冬期条件	標準	9	65	7	6
	高温		90		
着霜期条件	標準	5	65	2	1
	高温		90		

■水質基準について

- 水質によっては、タンク、減圧弁、逃し弁、熱交換器等の寿命が通常より短くなることや、製品の交換が必要な不具合が発生する場合があります。特に、温泉水、地下水、井戸水で使用した場合は保証しかねます。(不具合等が発生した場合、無償保証はできません。) 水質基準に適合した水道水を使用してください。

●水質基準(標準)

水素イオン濃度(25°C)	6.5~8.0pH
電気伝導率(25°C)	200μs/cm以下
塩化物イオン Cl ⁻	30mg/L以下
硫酸イオン SO ₄ ²⁻	30mg/L以下

Mアルカリ度pH4.8 (酸消費量) CaCO ₃	50mg/L以下
総硬度 CaCO ₃	70mg/L以下
カルシウム硬度 CaCO ₃	50mg/L以下
シリカ SiO ₂	50mg/L以下
イオウイオン S ²⁻	検出されないこと

アンモニウムイオン NH ₄ ⁺	検出されないこと
鉄Fe	0.3mg/L以下
残留塩素 Cl	0.5mg/L以下
遊離炭酸 CO ₂	5.0mg/L以下

※井戸水など水質基準外の水の場合、膨張タンクの設置など、所定の施工、使用方法でご使用することが可能です。

●井戸使用時(膨張タンク設置時)の場合

水素イオン濃度(25°C)	5.8~8.6pH
電気伝導率(25°C)	700μs/cm以下
塩化物イオン Cl ⁻	100mg/L以下
硫酸イオン SO ₄ ²⁻	50mg/L以下
Mアルカリ度pH4.8(酸消費量)	75mg/L以下
総硬度 CaCO ₃	200mg/L以下
カルシウム硬度 CaCO ₃	150mg/L以下

シリカ SiO ₂	50mg/L以下
イオウイオン S ²⁻	検出されないこと
アンモニウムイオン NH ₄ ⁺	検出されないこと
鉄Fe	0.3mg/L以下
銅Cu	1.0mg/L以下
残留塩素 Cl	1.0mg/L以下
遊離炭酸 CO ₂	30mg/L以下

左記以外は、飲料水の水質基準による。

-MEMO-

アフターサービス

愛情点検



長年ご使用の貯湯式給湯システムの点検を！

こんな症状はありませんか？

- 運転中以外に逃し弁から水が漏れる。
- 機器や配管から水が漏れる。
- 漏電遮断器が自動的に「切(OFF)」になる。
- その他の異常や故障がある。

ご 使用 中 止

故障や事故防止のため、電源ブレーカーを切り、給湯機専用止水栓を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

〈保守点検契約のおすすめ〉

- 給湯システムは常にその性能を十分に発揮させるために、正しい使い方と同時に定期的な保守点検が必要です。故障が起きてからの修理では、大変な経費と時間が必要になります。そこで、当社は保守点検契約をおすすめします。
- 保守点検契約についての詳細は、販売店または工事店にご相談ください。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。
サービスを依頼されると
きに便利です。



お買い上げ日	年 月 日	形式	RHK-10BD
購 入 店 名	電 話 ()		



日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

RHK-10BD : ④-(AP)